

**概要****【目的】**

相談支援従事者等研修（以下「研修」という。）を、円滑かつ効果的に行えるよう、研修カリキュラム等について検討する。

**【年間活動方針】**

- ・研修の種類ごとに作成したプログラムや教材について、全体を俯瞰して再整理を行い、令和5年度の研修に反映する。
- ・地域での実習結果を把握・検証した結果を区市町村にフィードバックすることで、次に活かせる仕組みについて検討する。
- ・新たな相談支援専門員制度の意図を踏まえ、研修に携わる人材の選出の考え方や循環の仕組みについて検討する。

**【委員構成】**五十音順、◎委員長、○副委員長

	氏名(敬称略)	所属
1	神作 彩子	社会福祉法人東京都手をつなぐ育成会 大田区立障がい者総合サポートセンター
2	○北川 悦子	一般社団法人ソラティオ 荒川区障害者基幹相談支援センター
3	◎佐藤 繭美	法政大学現代福祉学部教授
4	杉田 泉	特定非営利活動法人江戸川区相談支援連絡協議会 江相連相談支援センター
5	高江洲 幸男	社会福祉法人もくば会 八王子地域生活支援室高尾
6	中島 美穂子	社会福祉法人マインドはちおうじ マインドはちおうじ相談支援センター
7	○中村 尚子	品川区八潮障害者計画相談支援事業所
8	花形 朗子	社会福祉法人ときわ会 地域生活支援センターあさやけ
9	○蛭川 涼子	特定非営利活動法人自立生活センターSTEP えどがわ
10	○藤田 博文	特定非営利活動法人自立生活センター日野
11	安井 一裕	一般社団法人しぶや糸をつむぐ会 コネクトしぶや

**【活動状況】**

- ・新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、第1回から第3回までは、Web会議で実施

	日程	議事
第1回	5月25日	検討会年間活動方針及び計画案について
第2回	7月28日	相談支援従事者指導者養成研修（国研修）受講報告について 各検討チーム活動報告について
第3回	11月30日	サービス管理責任者等指導者養成研修（国研修）受講報告について 各検討チーム活動報告について
第4回	3月8日	年間のまとめ及び引継ぎ事項の確認

**【検討体制】**

- ・全体を俯瞰するために、課題別のチームに分かれて検討を進めた。

検討チーム名等	委員(敬称略)	回数
研修内容の整理チーム	蛭川、杉田、高江洲、中島	6回
実習チーム	藤田、神作、花形、安井	6回
人材育成チーム	中村、北川、佐藤	4回

### 活動成果1 研修の種類ごとに作成したプログラムや教材について、全体を俯瞰して再整理

- ・研修はそれぞれが独立しているのではなく、初任者研修から主任研修まで相談支援専門員としてどうレベルアップするかストーリーがある。
- ・ストーリーに沿って研修の中身を整理するため、東京都の相談支援従事者研修の人材育成ビジョンである「私たちが目指す相談支援専門員の姿 Ver.7」の枠組みを用いて、各研修の目的、方法論並びにツールの洗い出しを行った。
- ・初任者研修から主任研修まで共通で使用できるツールとして、基本情報グラフィック（別紙1）、地域資源調べシート（別紙2）、チームアプローチの理解を深めるために架空事例を用いた資料（別紙3）、東京都の研修のしくみを完成させ、それぞれのツールの意図を研修受講者に伝えるための説明文をまとめた。

### 活動成果2 各区市町村の相談支援体制づくりに役立つ実習説明会の実施と検証

- ・令和2年度から始まった地域実習の円滑な実施に向けて、窓口となる区市町村職員に研修の目的や実習の意図を理解していただけるよう「実習受け入れガイド」を作成すると共に、説明会を実施した。
- ・説明会は、実習の対応をしていただく区市町村職員と区市町村の選定した相談支援専門員（以下「実習対応者」という。）を対象とし、研修で使用しているツールの説明や実習対応の具体的なイメージを持てるようデモンストラーションを行った。
- ・説明会に参加できなかった実習対応者が後から視聴できるよう、また、説明会に参加した場合も繰り返し復習できるように、録画した説明会の動画をインターネット配信した。
- ・研修の実施後、実習対応者にアンケートを実施した。

### 活動成果3 「私たちが目指す相談支援専門員の姿」のバージョンアップ

- ・「私たちが目指す相談支援専門員の姿」のバージョンアップに取り組んだ（別紙4）。
- ・「相談支援専門員とは何か」がわかりやすく伝わる部分、相談支援専門員が持ち続ける姿勢や土台となるものを示す部分、相談支援専門員の人材育成の仕組みの部分の三部構成でまとめることを検討した。
- ・これまでの「専門員の姿」に登場していなかった、「共生社会」、「意思決定支援」、「官民協働」等のキーワードを打ち出した。
- ・人材育成の仕組みの部分のあたり、内容の整理チームと合同で打合せを行ったことで、全体を多角的に見直すことができ、文言の整理することができた。

### 活動成果4 その他

- ・厚生労働省主催の相談支援従事者指導者養成研修会（6月及び3月）及びサービス管理責任者等指導者養成研修専門コース別研修部分（9月）に参加し、得た情報を第2回、第3回検討会で共有した。
- ・東京都相談支援従事者研修の講師人材の循環と地域の中核人材となる主任相談支援専門員と推薦条件について検討した。

## 来年度に向けて

### 【引継ぎ事項1 検討会の検討体制の見直し】

- ・今年度の課題別の検討チーム編成は、研修にしばられることなく課題ごとに深く、研修間の連動性についても考えることができた半面、研修づくりに関わっていなかったメインファシリテーターに更新作業を依頼するという研修づくりの方法はあまりうまく行かなかった。
- ・来年度は、検討会委員が課題別検討チームと研修別検討チームの複数に所属する編成を提案する。
- ・研修別チームは協力者にも参加してもらい、研修講師となる人材が、無理なくスライドし、循環していく仕組みを目指す。
- ・演習で使用している情報が古くなっている架空事例については、事例の刷新を含め検討していく。
- ・地域の中核人材を養成する主任研修の受講者推薦について、官民協働で取り組む方法と推薦の要件について検討する。

### <令和5年度検討体制案>

研修種別 課題別	初任者研修	現任研修 事例作成	主任研修	演習指導者養成 研修	専門コース別 研修
内容整理					
実習					
人材育成					

### <研修講師人材の循環イメージ例>

- ・必ずしも、以下のステップを順番に進まなくてはならないということではなく、人材を育成し循環させていくイメージを表した図。
- ・「学びあう地域」をつくるため、地域の中核人材となる主任相談支援専門員や区市町村等から推薦を受けた演習指導者養成研修受講者が、東京都の研修でファシリテーションやスーパーバイズを経験することで更に力をつけていくことをイメージ。
- ・突然、東京都全体の検討を担う検討会委員になるのではなく、まず初任者研修のファシリテーター（FT）や地域実習の担い手を経験し、徐々に次のステップにスライドできるよう、関係者一同が意識し協力しあう。

#### ◆演習指導者養成研修（区市町村等推薦）



#### ◆主任研修（区市町村推薦）

主任相談支援専門員

**【引継ぎ事項2 実習対応者（区市町村及び拠点機関）のバックアップ】**

- ・初任者研修及び現任研修の実習対応者を対象にした説明会を実施し、参加者からも一定の評価を得た。区市町村職員の異動への対応や新たな拠点機関も協力できるよう、説明会の実施を継続する。
- ・受講者の準備不足によって実習対応者の負担とならないような工夫を検討する。
- ・区市町村説明会と合わせて、実習対応者向けの動画を配信する。
- ・ファシリテーターが演習グループで得た区市町村の実習対応に関する情報をフィードバックしてもらい、今後活かせる仕組みを作る。
- ・受講者が多く対応に苦慮している区市町村がある一方、小さい区市町村ならではの負担感もあるので、地域の実情に合わせたバックアップについて検討する。

**【引継ぎ事項3 研修補助教材の必要性の検討】**

- ・研修の時間以外に受講者が繰り返し学習できるような視聴覚教材の作成について検討する必要がある。
- ・各検討チームで補助教材が必要な箇所を意識しながら活動し、結果を持ち寄る。
- ・研修に必要な補助教材という視点だけでなく、現場に出てから学び直すことのできる教材の要否について、また、この検討会で取り組むかどうかについて検討する。

**【引継ぎ事項4 私たちが目指す相談支援専門員の姿の更新】**

- ・今年度、バージョンアップを図ったが、当初予定していた相談支援専門員を知らない人にもわかりやすく相談支援専門員の役割を伝える部分が完成しなかった。来年度以降、内容について検討し、行政職員等に理解していただく資料とする。

Aさん( )歳代 男・女 B市(区)在住

見た目・性格

できること (ADL・IADL など)

好きなこと (興味・関心など)

苦手なこと・嫌いなこと

本人の思い

家族の思い

障害福祉サービス

ジェノグラム・エコマップ

週間予定

週間以外の予定

医療状況 (通院歴など)

障害・疾病 (障害者手帳など)

住まい・環境・経済状況

その他 (必要な情報など)

本人

【生活歴】

